

事業番号	02 01 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）			当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	計画行政費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課			
		実施期間	H25～	E-mail	seisaku@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）								
8つの重点目標	全目標							
総合的に展開する重点政策								

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】	「しあわせ信州創造プラン2.0」の3年目であり、計画の着実な推進が必要。また、プラン2.0をSDGsの達成をめざす行動計画と位置付けており、SDGsの普及・推進が必要。
	【目指す姿】	『確かな暮らしが営まれる美しい信州』の実現(2022年度) ・労働生産性(2020年度):7,865千円/人 ・県民一人当たり家計可処分所得(2020年度):2,780千円 ・社会増減(2022年):社会増 ・観光消費額(2022年):8,100億円 ・合計特殊出生率(2022年):1.76 ・就業率(2022年):61.5% ・健康寿命(2020年):全国1位 ・再生可能エネルギー自給率(2020年度):12.9%
	【実施内容】	・政策評価を実施し、PDCAサイクルを回すことによるプラン2.0の着実な推進 ・SDGsに取り組む機運の醸成と取組の推進 など

### 指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]

No.	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	現時点での達成状況※	事業コスト	区分(単位:千円)			
								R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
1	労働生産性(千円/人)	7,288 (2016年度)	7,408 (2017年度)	↑	7,509 (2018年度)	↑	7,865 (2020年度)	(未達成)	前年度繰越	0	0
									現計予算	12,764	25,431
									合計(A)	12,764	25,431
2	県民一人当たり家計可処分所得(千円/人)	2,465 (2016年度)	2,505 (2017年度)	↑	2,578 (2018年度)	↑	2,780 (2020年度)	(未達成)	うち一般財源	12,764	25,431
									決算額(B)	7,997	16,288
3	社会増減(人)	▲956 (2018年)	▲2,088 (2019年)	↓	▲2,440 (2020年)	↓	社会増 (2022年)	(未達成)	職員数(人)	6	6
4	観光消費額(億円)	8,146 (2018年)	8,769 (2019年)	↑	7,087 (2020年)	↓	8,100 (2022年)	(未達成)	※達成状況は、「しあわせ信州創造プラン2.0」の目標に対する現時点での達成状況を記載。		
5	合計特殊出生率	1.57 (2018年)	1.57 (2019年)	→	1.53 (2020年)	↓	1.76 (2022年)	(未達成)			
6	就業率(%)	62.4 (2018年)	62.7 (2019年)	↑	62.6 (2020年)	↓	61.5 (2022年)	(達成)			
7	健康寿命(年)	男性	80.7 全国1位 (2017年)	81.0 全国1位 (2018年)	↑	81.1 全国1位 (2019年)	↑	全国1位 (2020年)			
		女性	84.7 全国1位 (2017年)	84.9 全国1位 (2018年)	↑	84.9 全国1位 (2019年)	→				
8	再生可能エネルギー自給率(%)	8.9 (2016年度)	9.3 (2017年度)	↑	9.8 (2018年度)	↑	12.9 (2020年度)	(未達成)			

**成果指標設定理由** この事業費は「しあわせ信州創造プラン2.0」の進捗状況を分析・評価するための経費であることから、プラン2.0で設定した8つの重点目標を指標とする。

**達成状況の分析** プラン2.0の重点目標の中には、目標値に向けて進捗が十分でないものがあり、プラン2.0の目指す姿の実現までは道半ばとなっている。

主な取組	<b>✓ 政策評価の実施 (R3.9公表)</b> 政策の総合的達成度を把握するとともに、部局の枠を越えた視点で政策の分析・検証を行い、成果や改善点を明らかにするため、8つの「重点目標」を単位の評価を実施。
	<b>✓ 県民のSDGs達成に取り組む機運の醸成</b> R3.1にSDGs全国フォーラム長野2020を開催し、有識者による講演、パネルディスカッション等を実施（オンライン開催、視聴者数延べ2,536人）

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	○政策評価について ・新型コロナウイルスの拡大によって社会経済情勢が大きく変化しているため、成果指標による定量的な分析に加え、こうした変化を踏まえた評価が必要。 ○SDGsについて ・SDGsの県民認知度は43.9%（2021.6民間調査）と、前年の15.4%から大きく向上。SDGsの達成に向けては認知度向上に併せて、具体的な取組を促進していく必要がある。	・政策評価（計画の進捗管理及び事業点検）を実施し、PDCAサイクルを回すことで、プラン2.0の着実な推進を図るとともに、社会経済情勢やコロナ禍による変化を踏まえ政策形成・事業構築を行う。 ・SDGs全国フォーラム長野2020の開催を契機として、SDGsの更なる普及やSDGs達成に向けた具体的な取組を促進する。

事業番号	02 01 01	細事業一覧（令和2年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	計画行政費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	計画行政費	7,997 千円	16,288 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	しあわせ信州創造プラン2.0の政策評価	直接	しあわせ信州創造プラン2.0の政策評価（進捗管理・事業点検）の実施等（経常経費を含む）
2	チャレンジプロジェクトの政策構築	直接	R2は新型コロナ対応のため足踏みとなったが、これまでに実施した有識者からの意見聴取や先進事例視察等で得られた知見を取り入れ、R3当初予算への計上につなげた。
3	SDGsに取り組む機運の醸成と取組の推進	直接	Instagramやポータルサイトによる情報発信を開始し、実践できる身近な行動や県の取り組みを紹介
4	SDGs全国フォーラムin長野の開催	委託	新しいライフスタイルの提案やSDGs達成に向けた先進事例を共有・発信するフォーラムを開催